

市町村名		渡嘉敷村					
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	渡嘉敷村観光総合推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(10)-ウ	
担当部課名	観光産業課	事業実施(予定)年度	平成24年～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	持続可能で質の高い離島観光の振興		
事業内容	観光需要の回復を図るため、県内外の観光イベントにおけるPR活動や、各種広告媒体を活用した情報発信を継続し、多様な観光ニーズに対応する新しい観光地づくりに取り組む。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	59,595	52,262	44,719	52,489	55,244
		(b) 予算現額	42,564	28,616	38,441	51,440	48,685
		(c) 増減額(b-a)	▲ 17,031	▲ 23,646	▲ 6,278	▲ 1,049	▲ 6,559
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	42,564	28,616	38,441	51,440	48,685
	B. 執行済額		36,104	27,926	36,514	50,081	47,644
	うち交付金充当額		28,883	22,340	29,211	40,064	38,115
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		84.8%	97.6%	95.0%	97.4%	97.9%
予算の状況の説明		観光誘客受入委託業務について、委託料(セミナーの回数等が減った為)の精算により予算806千円を減額した。労働派遣(外国語スタッフの配置)に関しては、必要な人員3名/日を確保できなかったための4,000千円の減額を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	PRツール制作配布(観光MAP等)	目標	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	県内外で行われるイベントでのPR活動(マリンダイビングフェア等)	目標	( 11人派遣 )	( 12人派遣 )	( 12人派遣 )	( PR活動実施 )	
		実績	2人派遣	5人派遣	5人派遣	PR活動実施済み	
	広告掲載(観光情報誌掲載)	目標	( 18万部 )	( 18万部 )	( 18万部 )	( 広告掲載 )	
		実績	20万部	20万部	20万部	広告掲載済み	
	外国語スタッフの配置(那覇泊港とまりん、泊港北岸事務所)	目標	( 2人 )	( 2人 )	( 2人 )	( 配置 )	
		実績	2人	2人	2人	2人	
達成状況説明		PRツールについては、渡嘉敷島MAP(日本語)40,000部、渡嘉敷島MAP(多言語)10,000部、A2ポスター100枚、村PR用ノベルティ(防災ポトル7点セット・フォールディングファン・タイベックポーチ・ホケットチツシュ)を作成し県内外イベント参加時のPR活動へ活用した。県外イベントへはきめ細やかなPR案内を行うため、インストラクター等の専門的な知識を有する地元事業者を3名派遣した。(来島者が多く、対応出来ないイベントもあった) ※マリンダイビング2名(県外)、OZの女子旅1名(県外)、とかしきマルシェ3名(県内)さらに「沖縄・離島情報」へ広告を掲載し20万部を発行するとともに、那覇泊港へ外国語スタッフ2名を配置し、外国人観光客対応を実施した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	年間入域観光客数 134,800人以上	目標	( 109,578 )	( 134,800 )	( 134,800 )	( 134,800 )	( )
		実績		105,497	115,592	142,153	
	観光客を対象としたアンケートを実施し、利便性が確保されているか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	目標	( )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	(80%以上)
		実績		82%	86%	84%	
進捗状況説明		年間入域観光客数は、目標を達成し前年度から26,561人増加し、前年比(122.9%)となった。アンケートについては、令和6年12月末から令和7年3月31日まで実施し271件の回答があり、総合的な満足度で91.8%の(とても満足・やや満足)となりましたが、島内の移動は63.5%、現地での観光情報の提供は61.6%、パンフレットやインターネットの情報量63.1%等今後の事業計画を検証する必要がある。					

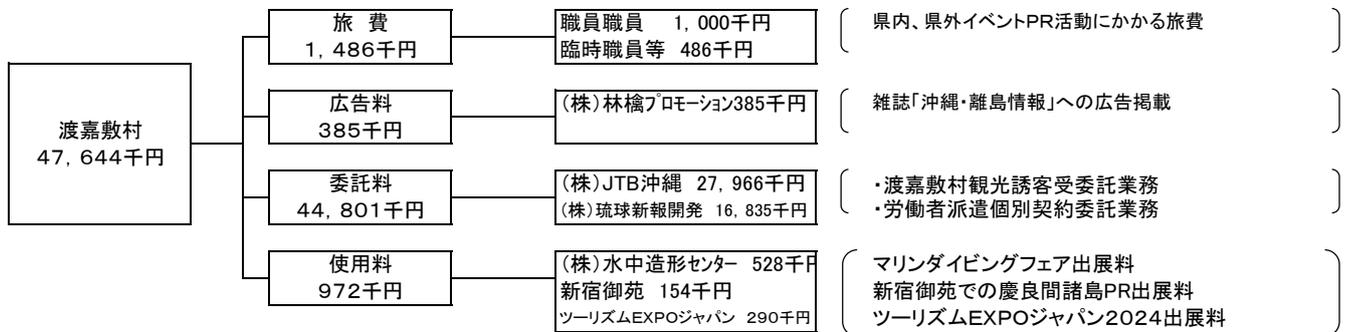
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(年間入域観光客数) ・インバウンド等の急激な観光客増に対応しつつ、移動手段などの利用向上目指し、年間の平準化の受入体制を整える。 ・誘客を推進するうえで、ターゲットや宿泊者を増やす方向性を検討する必要がある。 (アンケート) ・スマホでQRコードを読み取らせる方法で、アンケートを実施している。データの活用方法や質問内容を検討する必要がある。	(年間入域観光客数) ・アドベンチャーツーリズム等を取り入れ宿泊に繋げながら、閑散期の観光誘客メニューを作成し入域数の平準化を図る。 (アンケート) ・過去の入域数データ及びアンケートを活用して更なる検討が必要。

**今後の取り組み方針**

(年間入域観光客数)  
 ・地域事業者の意見を踏まえて、観光誘客メニュー(宿泊や日帰りなど)の検討し、観光誘客に取り組む。  
 (アンケート)  
 ・過去の入域データ及びアンケートを活用して更なる検討が必要。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
47,644	47,644	38,115	9,529	0



資金の用途の流れ、点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業は企画コンペで選定しており、妥当であると考ええる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%となっており、ほぼ妥当な予算規模と考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断する。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村
------	------

**令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】**

事業番号・事業名	1-②	渡嘉敷村美化清掃事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ア
担当部署名	観光産業課	事業実施(予定)年度 平成24年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備
				Ⅲ-1-(1)

**事業内容**  
魅力的な観光地として景観形成を図るため、村内の海浜、公園などの清掃作業及び花木等の植栽を実施する。

**効果発現年度**  
 当年度       後年度(      年度)

**実施方法**  
 直接実施       委託       補助       負担       その他(      )

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	11,627	10,672	9,140	11,030
		(b) 予算現額	9,098	8,405	8,598	10,297
		(c) 増減額(b-a)	▲2,529	▲2,267	▲542	▲733
		(d) 繰越額				
		A. 計(b+d)	9,098	8,405	8,598	10,297
		B. 執行済額	8,938	7,880	8,113	9,876
		うち交付金充当額	6,910	6,304	6,491	8,601
		次年度繰越額	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	98.2%	93.8%	94.4%	95.9%
		予算の状況の説明	美化清掃員が欠員のため、報酬などの減額と、人員不足のかり作業車両等の使用頻度が減り燃料費を減額及び消耗品費の減額のため。			

活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)	達成状況			
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
花木植栽10箇所実施	目標	(花木植栽10箇所)	(花木植栽10箇所)	(花木植栽10箇所)	(花木植栽10箇所)
	実績	花木植栽10箇所	花木植栽10箇所	花木植栽10箇所	花木植栽10箇所
美化清掃10箇所実施	目標	(美化清掃10箇所)	(美化清掃10箇所)	(美化清掃10箇所)	(美化清掃10箇所)
	実績	美化清掃10箇所	美化清掃10箇所	美化清掃10箇所	美化清掃10箇所
	目標	( )	( )	( )	( )
	実績				
達成状況説明	観光客が利用する公共施設や展望所等10箇所(渡嘉敷港旅客待合所、港の見える展望台、アラン展望台、前岳林道東屋、照山園地、美花原遊歩道、阿波連漁港、阿波連園地、渡嘉志久海岸公園、ユクンチジ花壇)にて花木を植栽し、公衆トイレ等の清掃作業を行った。				

成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)	基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
		観光客を対象としたアンケートを実施し、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	( )	( 80% )	( 80% )
	実績		86%	87%	86.6%	
進捗状況説明	公衆トイレや展望台の清掃、除草作業を実施したことで、観光整備が行き届いた魅力ある観光地として景観を維持することができた。4月から翌年3月まで実施した観光客を対象とした紙でのアンケートでは、94人の回答が得られ、観光スポット・施設で(とても満足・やや満足)と回答した人の割合は86.6%だった。					

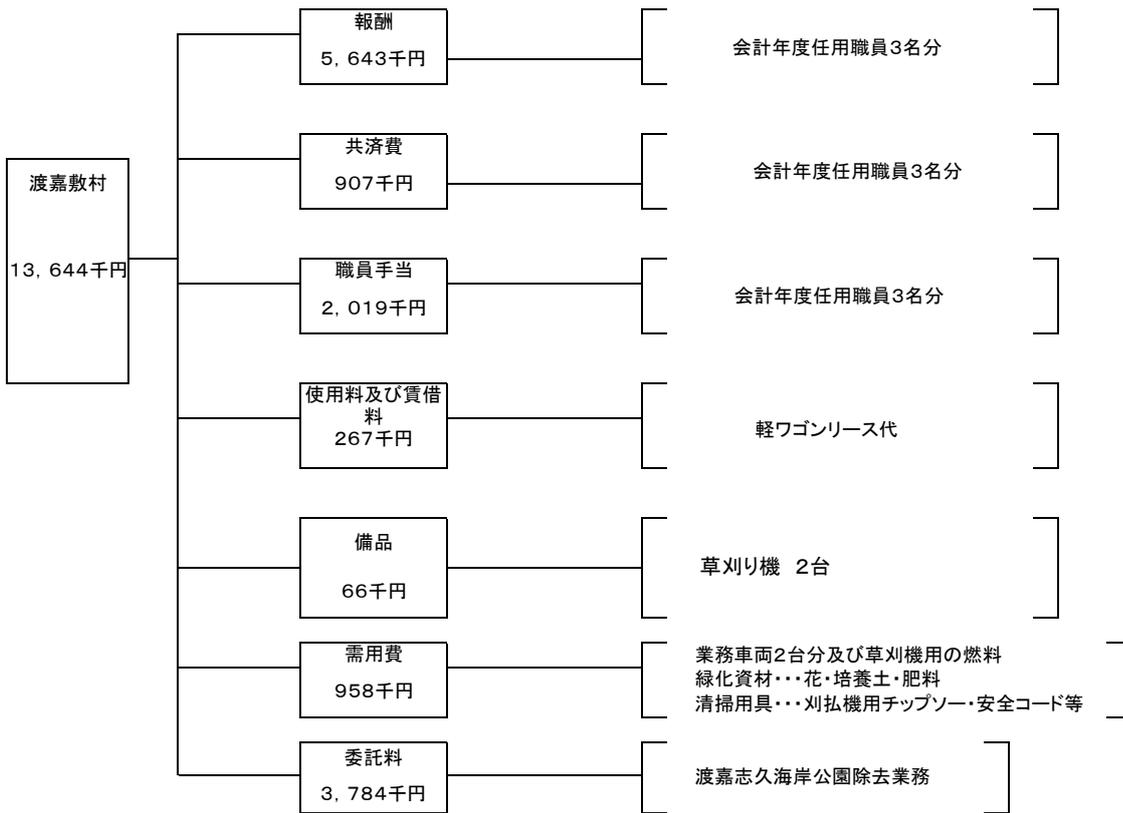
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	今年度も観光客が増加傾向にあったが、作業員3名の連携により清掃作業等が行き届き景観を維持できた。しかし、作業員が高齢であることなどから、急傾斜の園地など一部の施設では作業が難しくなっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業箇所や作業員の高齢化等を考慮して通年での人材確保の必要がある。</li> <li>渡嘉敷村照山園地(ツツジ園)は、照山展望台と隣接しており急傾斜でもあるため、高齢化している作業員では対応できない箇所となっている。加えて人員の確保も考慮すると今後は委託業務での対応を行う必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

人材確保のため、地域住民に美化清掃事業の周知を行いつつ、一部は委託事業を行い、景観形成を確保する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
13,644	13,644	10,915	2,729	0



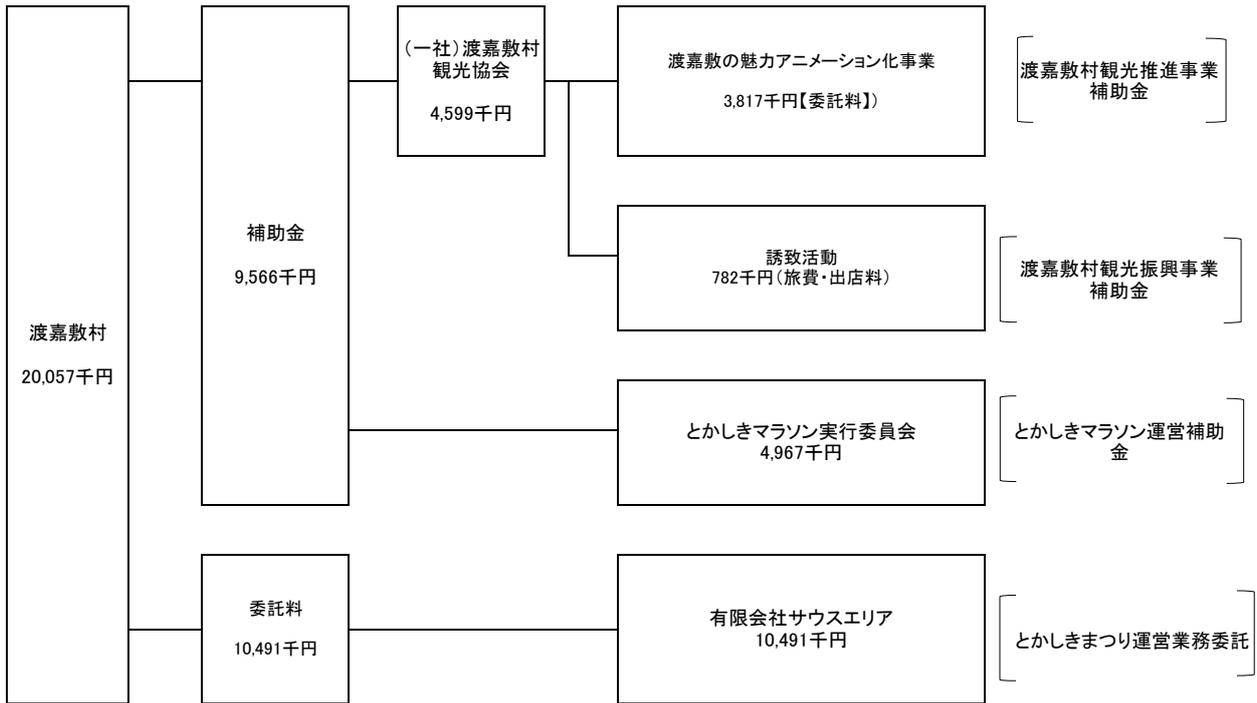
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○作業員は村内公募により採用しており、妥当であった。 ○清掃箇所に対し作業員3名の人件費と作業に伴う需用費を支出。予算規模についても適正であった。 ○費目、使途について、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時に支出等に関する書類により確定、適切であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		渡嘉敷村					
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	渡嘉敷村観光振興事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	4-3-(10)-ウ	
担当部署名	観光産業課	事業実施(予定)年度	平成29年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	持続可能で質の高い離島観光の振興		
事業内容	観光需要の回復を図るため、県内外の観光イベントにおけるPR活動や、各種広告媒体を活用した情報発信を継続し、多様な観光ニーズに対応する新しい観光地づくりに取り組む。						
効果発現年度	■当年度 □後年度( 年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	17,800	17,800	33,135	40,460	58,769
		(b)予算現額	3,600	8,800	24,135	40,460	20,690
		(c)増減額(b-a)	▲14,200	▲9,000	▲9,000	0	▲38,079
		(d)繰越額					
	A.計(b+d)	3,600	8,800	24,135	40,460	20,690	
	B.執行済額	3200	1,100	22,581	37,762	20,057	
	うち交付金充当額	2560	880	18,064	26,753	16,046	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	88.9%	12.5%	93.6%	93.3%	96.9%	
予算の状況の説明	執行済額については、未執行額や交付対象外経費を精査し減額。返還金は年度内で受入し、交付金の実績報告に反映しております。						
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)	達成状況					
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	観光協会への支援	目標	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	各イベントの支援・実施	目標	( )	( )	( 実施 )	( 実施 )	
		実績			実施	実施	
達成状況説明	渡嘉敷村の観光振興を図るため、とかしまつり・とかしまらソンの実施、誘客活動や修学旅行等の誘致活動に取り組む観光協会を支援した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
		年間入域観光客数	目標	( )	( 135,300 )	( 134,800 )	( 134,800 )
	実績				105,497	115,592	142,153
	各種イベントの開催	目標	( )	( )	( 実施 )	( 実施 )	( )
		実績				実施	実施
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間入域観光客数は目標を上回り、142,153人を達成。</li> <li>とかしまつり・とかしまらソンの開催を実施、とかしまらソンはプレ大会から第16回のナンバリング大会にて開催できた。</li> </ul>					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響がほぼなくなり、マラソン大会や地域の祭りなどがコロナ前と同規模で実施できたことに加え、外国人観光客の回復や地域イベントの充実、観光プロモーションの強化などが重なり、年間入域観光客数が前年を上回る結果となった。特に、インバウンドに対する受入環境の整備が、訪問者の増加に寄与したと考えられる。</p>	<p>とかしきマラソンは前回のナンバリング大会の第15回と比較すると参加者数が減少している為、情報発信や地域との連動施策等を行う必要がある。イベント以外での集客として引き続き修学旅行受入に向けた県内外への誘致活動を観光協会を中心に取組んでいただく。</p>
今後の取り組み方針		
<p>渡嘉敷村観光協会を中心に受入体制の整備・構築及び渡嘉敷島のPR等に対する支援を継続し、渡嘉敷の魅力アニメーション化事業を通じて観光誘客に取組む。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
20,057	20,057	16,046	4,011	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○補助事業者は、交付金交付要綱による審査により決定していることから、妥当であると考えられる。            ○実績報告を精査し妥当な予算規模と考える。            ○受益の程度に応じた費用負担を設定していることから妥当であると判断する。            ○費目、用途については補助金交付要綱の目的に即し、必要なものであったと判断する。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村
------	------

**令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】**

事業番号・事業名	1-④	渡嘉敷村海域安全確保事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(10)-ウ
担当部署名	観光産業課	事業実施(予定)年度	令和元年～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				持続可能で質の高い離島観光の振興
				Ⅲ-1-(1)

**事業内容**  
 村内の2ビーチ(阿波連ビーチ・渡嘉志久ビーチ)に監視員を配置し、ビーチ利用者の水難事故防止と安全確保を図る。

**効果発現年度**  
 当年度       後年度( 年度)

**実施方法**  
 直接実施       委託       補助       負担       その他( )

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	19,063	19,240	24,638	25,385	28,430
		(b) 予算現額	18,331	18,714	18,621	20,341	26,175
		(c) 増減額(b-a)	▲732	▲526	▲6,017	▲5,044	▲2,255
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	18,331	18,714	18,621	20,341	26,175
		B. 執行済額	18,331	18,714	18,621	20,341	26,175
		うち交付金充当額	14,664	14,971	14,897	16,272	20,940
		次年度繰越額					
		執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
		予算の状況の説明	天候がよく、安定的な監視業務が出来たため増減はなかった。				

活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)	達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		監視員等の配置 ・阿波連ビーチ 2名(3名) ・渡嘉志久ビーチ 2名 (7、8月 阿波連ビーチ 1名追加)	目標	( 4月～10月末 常駐配置 )	( 4月～10月末 常駐配置 )	( 4月～10月末 常駐配置 )
	実績	4月24日～10月31日 配置	4月24日～10月31日 配置	4月16日～10月31日 配置	4月20日～11月30日 配置	
	目標	( )	( )	( )	( )	
	実績					
達成状況説明	・4月20日から11月30日までの間(地域からの要望で、10月末から11月末まで延長)、村内2ビーチ(阿波連ビーチ、渡嘉志久ビーチ)において監視員4名が常駐し監視業務を行った。夏季繁忙期(7月1日～8月31日)においては、阿波連ビーチへ1名増員し、5名体制にて監視業務を行った。					

成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)	基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
		監視員配置期間中の水難死亡事故	( )	( 0件 )	( 0件 )	( 0件 )
		実績	1件	0件	0件	
	【参考指標】	目標	( )	( )	( )	( )
	実績					
進捗状況説明	・村内2ビーチ(阿波連ビーチ、渡嘉志久ビーチ)において令和6年4月20日～令和6年11月30日の間、監視員等を配置したことにより死亡事故0件の目標を達成した。加えて、雷注意報やクラゲ等の発生時に、ビーチにおける事故防止と安全確保を図ることが出来た。 ・事故防止と安全確保として、各ビーチに案内板を設置し、ルールや注意事項及び海上コンディション等を掲示することで利用者側も気をつけるよう意識を促すようにした。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビーチ内に遊泳監視区域を設定したうえで、監視員等を配置しているが、区域外を利用する遊泳者もいるため、監視活動は区域外も含めて実施している。その際、一部の遊泳者との間で声かけについてトラブルもあった。</li> <li>・夏季繁忙期においては1名の増員を行ってはいるが、遊泳者の状況によっては、十分な監視体制の確保が困難となる。</li> <li>・遊泳中の早期事故発見はもちろんのこと、入水前の健康管理についても遊泳客への十分な周知・指導が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全確保のために、入水前の健康管理の指導やライフジャケット着用の声かけ等、ルール周知の徹底を行うためのたの対策を検討する。</li> <li>・入水前の声かけやルール周知の徹底を行う。</li> <li>・夏季繁忙期は1名増員しているが、遊泳者の状況によっては十分な監視が出来なくなることやインバウンドを含む来島者が増加しているため、今後、監視員の増員を行う必要がある。</li> <li>・遊泳監視区域以外で遊泳者もいることから、遊泳監視区域等は、事業者や住民等と意見交換を行う必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- ・安全確保のために、ビーチ利用のルールを村HPに掲載、ビーチ入口に案内看板設置を継続する。また、監視員にリーフレットを携帯させる等して、利用者がルールを知る機会を増やす。
- ・遊泳区域外でも死亡事故が起こらないように、積極的に声かけを行い、事業者と意見交換し監視区域やルールについて検討する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
26,175	26,175	20,940	5,235	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業は企画コンペで選定しており、妥当であると考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断する。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村
------	------

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-①	自動車航送コスト負担軽減事業	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(8)-ア			
担当部署名	総務課	事業実施 (予定)年度	平成28年度～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	交通・生活コストの低減		
事業内容	渡嘉敷港～那覇泊港間の車両航送利用者に対し、運賃を半額補助する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度( 年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	4,233	5,112	5,891	6,224	6,396
		(b)予算現額	5,839	5,112	6,824	6,224	6,396
		(c)増減額(b-a)	1,606	0	933	0	0
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)	5,839	5,112	6,824	6,224	6,396	
	B. 執行済額	5839	6291	6,208	5,693	5,650	
	うち交付金充当額	4671	5033	4,967	4,554	4,520	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	100.0%	123.1%	91.0%	91.5%	88.3%	
予算の状況の説明	令和3年度をピークに年々執行額が降下傾向にある。観光客数も増えたことから、観光業に従事している島民の利用回数が以前より減ってきていると考えられる。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	年間車両航送台数 自動車 850台 バイク 270台	目標	( 730 )	( 810 )	( 860 )	( 自動車850台 バイク270台 )	
		実績	1020	980	858	自動車737台 バイク165台	
達成状況説明	目標	( )	( )	( )	( )		
	実績						
目標とする台数まで到達していないが、利用目的を集計したところ「島外での買い物42.8%」に続き「車検整備・修理32.9%」の回答が多かった。このことから、車検場、修理工場の無い本村においては、離島における生活環境のハンディが解消され、本村への定住促進に繋がっている事業だと思われる。 * アンケートの結果は下記のとおり。 ・島外での買い物 4.28% ・車検整備、修理 32% ・教育 8.8% ・医療(通院等)3.9% ・その他12.3%							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 ( 年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 ( 年度)
	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、住民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( 80%以 )
		実績		99%	99%	99%	
	【参考指標】	目標	( )	( )	( )	( )	( )
実績							
進捗状況説明	自動車航送券の購入の際、「島発自動車航送運賃低減申請書」の記入と、「アンケート」の記入を依頼している。 回答者:自動車航送券購入者 = 737名  本事業について99%の方から「満足している」との回答を得ている。						

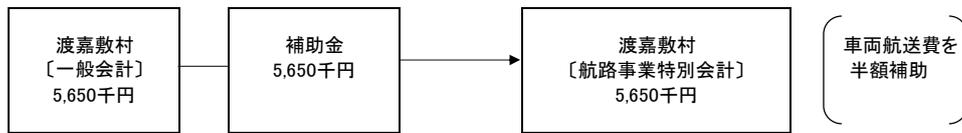
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	アンケートの結果満足度は80%を超えた。 観光業に従事する村民が多く、観光客が増加したことで、車両に乗って島外に出る頻度が当初目標を下回った原因として考えられる。 自動車の月平均が、61.4台となり、観光業の繁忙期となる6月～10月の利用台数は、60台を下回っている。 観光業の閑散期11月、12月に関しては80台を超えている。	満足度に関してのアンケートは目標の80%を超え高い水準である。 観光業に従事する村民が多く繁忙期の6月～10月の期間利用者数増は難しいと考える。 観光業の閑散期の村民の利用増が今後も見込まれる。 今後、車検での利用増が見込まれるので、本事業の活用を村民に再周知する。

**今後の取り組み方針**

過年度の利用台数と、毎月比較し活動目標の見直しを行う。  
「本事業の継続」等について利用者に、アンケートを行う。  
村広報誌等での本事業活用の呼びかけを行う。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,650	5,650	4,520	1,130	0



資金の流 れ、費 目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、渡嘉敷村役場船舶課のみとなるため妥当だと考える。 ○予算規模については妥当だと考える。 ○受益者との負担関係は、車両航送運賃を適正に支援しているため妥当だと考える。 ○費目・用途については、各停時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		渡嘉敷村					
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	渡嘉敷村交通コスト負担軽減事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(8)-ア	
	担当部署名	総務課	事業実施(予定)年度	平成25年～令和13年	沖縄振興基本方針該当箇所	人流・物流のコスト低減と情報通信基盤の強化	
事業内容	渡嘉敷村営定期船の欠航、または予定運行時刻に変更が生じた場合の補完的手段として、那覇空港～渡嘉敷ヘリポート間のヘリコプターチャーター便の利用者の運賃負担を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	(a) 当初予算額	3,300	3,300	1,200	1,200	1,200	
	(b) 予算現額	1,300	1,300	1,200	1,200	1,200	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 2,000	▲ 2,000	0	0	0	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	1,300	1,300	1,200	1,200	1,200	
	B. 執行済額	120	60	480	320	200	
	うち交付金充当額	96	48	384	256	160	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	9.2%	4.6%	40.0%	26.7%	16.7%	
予算の状況の説明	想定よりも利用者が少なく、見込みの回数を下回ってしまい不用額が発生した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)	達成状況					
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
	年間補助回数 30回	目標	( 110回 )	( 30回 )	( 30回 )	( 30回 )	
		実績	2回	12回	8回	5回	
		目標	(    )	(    )	(    )	(    )	
実績							
達成状況説明	今年度は事業対象となる定期船の欠航が前年度よりも少なく、ヘリコプターチャーター利用回数が減となり目標を下回る結果となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)	基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)	
	渡嘉敷村営定期船の欠航時等に代替手段となるヘリコプターの運賃補助を行うことで、利便性が確保されていると感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する	目標	( 80% )	( 80% )	( 80% )	( 80% )	( 80% )
		実績	/	100%	100%	100%	/
		目標	(    )	(    )	(    )	(    )	(    )
実績		/				/	
進捗状況説明	今年度は事業対象となる定期船の欠航が前年度よりも減少しているが、利用者を対象としたアンケート調査では大変満足の回答を多くいただいており、「村営定期船欠航時の代替えがある事」に利便性を感じているとの結果がでている。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	利用者へのアンケート調査の結果、ヘリコプターチャーター料金を補助することにより、住民及び観光客の交通手段の利便性の確保ができた。	当該補助の認知度向上のため、船舶課窓口やHP上での周知を行い、利用率の向上に努める。
<b>今後の取り組み方針</b>		
アンケート調査を継続し、利便性の確保の確認や当該事業の周知を行う。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
200	200	160	40	0



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先について、エクセル航空(株)の一社のみが事業者として参入しているため妥当と考える。 ○予算規模については、これまでの補助回数の実績等により算出しているため、妥当と考える。 ○受益者との負担関係は、運航経費の内4万円を適正に補助している。 ○費目・用途については、事業実績に基づき必要なものに限定されていると考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村
------	------

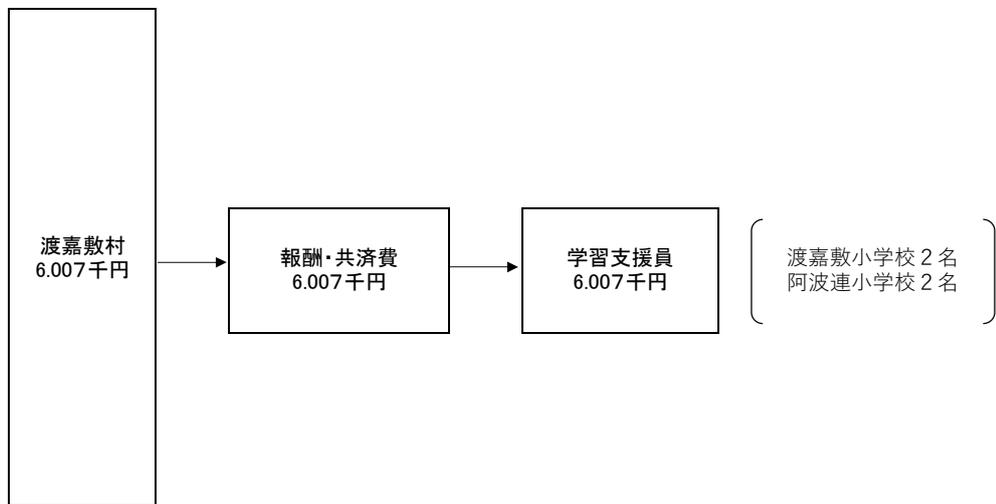
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-①	小学校学習支援員配置事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章—5—(2)—ア	
担当部課名	教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	児童の学力に応じた個々の学習指導を行うため、小学校に学習支援員を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	9,562	10,724	5,765	5,565	5,177
		(b) 予算現額	7,354	9,241	5,762	2,339	6,894
		(c) 増減額(b-a)	▲2,208	▲1,483	▲3	▲3,226	1,717
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)	7,354	9,241	5,762	2,339	6,894	
	B. 執行済額	3,182	5,597	4,454	2,773	6,007	
	うち交付金充当額	2,545	4,477	2,210	2,218	4,806	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	43.3%	60.6%	77.3%	118.6%	87.1%	
予算の状況の説明	学習支援員については、本事業と沖縄県の複式学級教育改善事業を活用しているが、当初予算算定時においては、複式学級教育改善事業の補助が確定していないため、支出予定額全額を本事業に計上している。事業決定後、複式学級教育改善事業補助金額分を減額している。しかし、今年度は当初より、4名の学習支援員が配置されたため、予算が増額している。						
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)	達成状況					
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	学習支援員の配置校 渡嘉敷小学校 2名 阿波連小学校 2名	目標	( 4名 )	( 4名 )	( 4名 )	( 4名 )	
		実績	3名	3名	2名	4名	
	目標	(      )	(      )	(      )	(      )		
	実績						
達成状況説明	令和6年度当初は、渡嘉敷小学校、阿波連小学校ともに2名ずつ配置することができ、目標の配置人数に達したが、11月～令和7年3月末日までの間、学習支援員1名が産休等を取得した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)	基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)	
	沖縄県学力到達度調査において、県の平均正答率との差、3.1ポイント以上	目標	(      )	( 7.9 )	( 7.9 )	( 3.1 )	(      )
		実績		4.2	3.1	-8	
	目標	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )	
	実績						
進捗状況説明	目標値の沖縄県沖縄県学力到達度調査における県と村との差が、+3.1ポイントを下回る、-8ポイントという結果となった。令和6年度の到達度調査の結果は、国語(村54.0% 県66.0%) 算数(村54.0% 県58.0%)であった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>今年度は、両小学校へ2名ずつの学習支援員を配置することができ、目標人数の確保ができたが、年度途中、1名の方が産休等を取得したため、11月～年度末まで、1校は1名減の配置となった。</p> <p>今年度は、ポイントの差が開いたため、授業の改善等が必要である。</p>	<p>(学習支援員の欠員補充について)</p> <p>年度途中に、学習支援員が減った場合の人材確保について、今後、どのようにしていくのか、協議等が必要である。</p> <p>(児童の学力向上について)</p> <p>今後も、両小学校へ学習支援員を各2名ずつ配置(募集)予定だが、今年度、到達度テストにおいてポイント差が開いたため、今後、学校側と情報交換等を行い、児童一人ひとりの学力向上を図っていく。</p>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>今後も学習支援員を4名配置できるか想定は難しいが、現在、配置している学習支援員の断続意思の確認や情報収集を行うことで人員確保に努め、本事業を活用した取り組みを実施し、児童一人ひとりの学力向上を図る。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
10,269	6,007	4,806	1,201	4,262



資金の流 れ、費目 ・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・選定は、有資格者も採用しており、妥当であったと考える。</p> <p>・今年度4名の配置ができ、総事業費等は増となっているが、費目・用途については、実績に基づいており、適正であったと考える。</p> <p>・有資格者の時給については、県の時給との均衡を考慮して設定しているため、予算規模は適正であったと考える。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		渡嘉敷村					
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	児童・生徒派遣支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ウ	
担当部課名	教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成25年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充		
事業内容	村外で開催されるスポーツ及び文化的教育活動等の大会に参加する児童・生徒に対し、交通費等の補助を行い、教育意欲の向上を図る						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		2,715	3,306	5,412	5,412	3,486
			517	1,884	5,412	3,280	2,143
			▲2,198	▲1,422	0	▲2,132	▲1,343
	B. 執行済額 うち交付金充当額		420	736	2,595	3,062	2,066
			336	589	1,397	2,185	1,653
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		81.2%	39.1%	47.9%	93.4%	96.4%
	予算の状況の説明	予算については、大会の廃止、大会参加の中止、試合敗退に伴う大会派遣期間の短縮等により派遣費の減額が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	渡嘉敷小学校児童派遣 3件	目標	( 5件 )	( 5件 )	( 5件 )	( 4件 )	
		実績	2件	3件	4件	3件	
	阿波連小学校児童派遣 3件	目標	( 4件 )	( 4件 )	( 4件 )	( 5件 )	
		実績	1件	5件	3件	3件	
渡嘉敷中学校生徒派遣 8件	目標	( 11件 )	( 11件 )	( 11件 )	( 11件 )		
	実績	6件	10件	8件	8件		
【参考指標】派遣児童生徒累計	実績	131名	294名	218名	198名		
達成状況説明	大会の廃止や参加希望者がいないため派遣中止となった大会等があったが、ほぼ予定どおりに参加できた。村外のスポーツ大会や文化事業発表会等に参加することで、離島小規模校ではできない貴重な体験をすることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対してアンケートを実施し、事業のあり方を検証する。	目標	(      )	( 80% )	( 80% )	( 80% )	(      )
		実績		84%	93%	100%	
進捗状況説明	保護者へのアンケート調査において、3校の児童生徒が村外で実施されたスポーツ大会及び文化事業発表会等の教育活動に参加し、「島内では出来ない経験をすることができた」と回答した割合は、100%となった。						

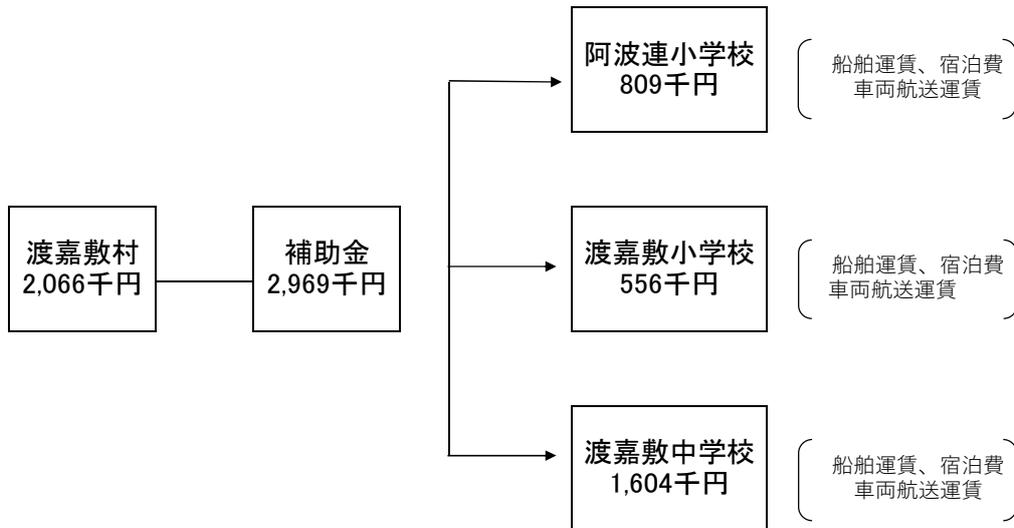
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の視野が広がったというアンケートが100%になっていることから、大会等の派遣は児童生徒にとって貴重な体験となり、意欲向上につながっている。</li> <li>・大会の廃止や参加希望がないことで派遣中止となった大会があるので、派遣する大会等の見直しが必要である。</li> </ul>	<p>大会等の派遣は児童生徒の意欲向上につながっているため、より多くの機会を得られるように、学校の意向や児童生徒の考えを把握するため教諭と情報交換を行い、派遣する大会等の見直しをする。</p>

**今後の取り組み方針**

村外で実施されるスポーツ大会や文化事業発表会などの教育活動に児童生徒が継続して参加することで、広い視野を持たせるとともに、児童生徒の意欲や交流機会を確保する。また、学校と連携して対象となる大会に参加する児童生徒を支援していく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,969	2,066	1,653	413	903



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・各学校による申請に対し補助を行っているため妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算規模は適正な規模で確保されており、大会の廃止等があったものの妥当であったと考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・渡嘉敷村立学校校外派遣事業交付規程により負担しており、妥当であったと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目・使途については、真に必要なものか等について、額の確定時に支出等に関する書類により確認しているため、適正であったと考える。

市町村名		渡嘉敷村					
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③		家庭教育支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(1)-(イ)	
	担当部課名	教育委員会 教育課		事業実施(予定)年度		平成28年度～令和13年度	子どもたちの健やかな育成に向けた地域全体の連携
事業内容	小学校5年生～中学3年生を対象にWebシステムを用いた授業による学習塾を実施する。					III-3-(1)	
	効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	12,727	15,603	13,355	10,853	9,127
		(b) 予算現額	7,674	12,583	9,473	7,913	7,965
		(c) 増減額(b-a)	▲5,053	▲3,020	▲3,882	▲2,940	▲1,162
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)		7,674	12,583	9,473	7,913	7,965
	B. 執行済額		7,674	6,561	7,395	7,307	7,348
	うち交付金充当額		6,139	5,249	5,916	5,845	5,878
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	52.1%	78.1%	92.3%	92.3%
予算の状況の説明		対象児童全生徒数43名に対して、参加児童生徒は28名となったため当初予算の減額。					
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	小学校5年(国語・算数)74授業 小学校6年(国語・算数)74授業 中学校1年(英語・数学)74授業 中学校2年(英語・数学)74授業 中学校3年(英語・数学・国語)143授業		目標 ( 452授業 )	( 418授業 )	( 481授業 )	( 441授業 )	
			実績 384授業	369授業	400授業	455授業	
			目標 ( )	( )	( )	( )	
			実績				
達成状況説明	学校行事や船舶の欠航時には、オンラインを活用した自宅での授業、別日に振り替えて授業を行った事で、目標の授業数は達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	オンライン学習塾への参加率 60%以上		目標 ( 60% )	( 60% )	( 60% )	( 60% )	( 60% )
			実績	58%	56%	65%	
	中学3年生の志望校合格率 80%以上		目標 ( 80%以上 )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( 80%以上 )
			実績	100%	100%	100%	
	進捗状況説明	学習塾への参加率は、目標を上回る65%に達し、多くの児童・生徒の家庭学習の充実に繋がった。中学3年生について、受験対策を集中的に行い、全生徒が第一志望校に合格することができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>【通信環境】 船舶の欠航時におけるオンライン授業の際、自宅の通信環境が整っていない家庭もあり、授業を受けるのが難しい状況があった。</p>	<p>【通信環境の整備】 通信環境が整っていない家庭については、Wi-Fi機器を借用するなど、全家庭が問題無く授業が受けられる環境を整備する。</p>

**今後の取り組み方針**

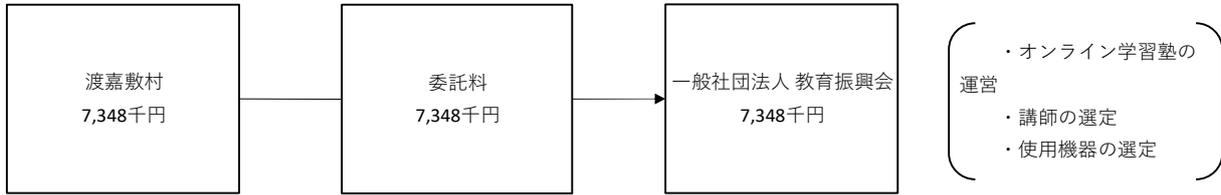
【学校と学習塾の連携強化】  
定期的に学校への状況報告を行っているが、今後はさらに連携を強化し、苦手科目の克服や個々に合った学習方法の確立を積極的に支援をする。

【学力テストの実施】  
定期的に、個人の学力レベルを把握できるテストを行い、個人に合わせた学習方法のアドバイスなどの支援をする。

【通信環境の整備】  
自宅の通信環境についてアンケートを取り、通信環境に問題がある家庭についてはwi-fi機器の借用を検討する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
7,348	7,348	5,878	1,470	0



資金の流 れ、費 目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・受託業者は企画提案募集で選定しており妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・不用額は事業費の精算によるものであり、ほぼ妥当な予算規模と考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・対象外経費のみ受益者負担としているため、妥当と考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目、使途については清算段階で検査しており、事業目的達成のために必要、適正であった。

市町村名		渡嘉敷村					
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	渡嘉敷村農村整備振興事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	4-3-(7)-キ	
担当部署名	観光産業課	事業実施(予定)年度	令和4年～令和13年		沖縄振興基本方針該当箇所	魅力と活力ある農山漁村地域の振興と脱炭素社会への貢献 III-1-(6)	
事業内容	自然環境に配慮しつつ沖縄らしさを活かした魅力的な農村の景観を形成することで、農業と観光業の総合的な振興を目指す。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R5年度	R6年度			
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,416	4,416	2,935		
		(b) 予算現額	4,416	3,850	2,882		
		(c) 増減額(b-a)	0	▲566	▲53		
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)		4,416	3,850	2,882		
	B. 執行済額		4,336	3,850	2,882		
	うち交付金充当額		3,469	3,080	2,305		
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		98.2%	100.0%	100.0%		
予算の状況の説明		入札執行にり減額があった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度		
	島の玄関口にあたる農村公園及びその周辺の農道の草刈り作業	目標	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	(      )	
		実績	実施	実施	実施		
	農村公園のピオトープの浚渫作業	目標	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	(      )	
		実績	実施	実施	実施		
達成状況説明	植栽や草刈等の委託業務を全て完了している。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	農業者へのアンケート(農環境が改善した80%以上)	目標	(      )	( 80% )	( 80% )	( 80% )	(      )
		実績		80%	75%	87%	
	【参考指標】	目標	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )
		実績					
	進捗状況説明	農道の整備等を行ったことで農業従事者の意欲向上に繋がった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	農業従事者へのアンケートで農環境が改善したと回答しているが、今後は浚渫土砂が島内で処理ができなくなるため、対策を検討する必要がある。	村道阿波連線の工事発注が出来た為、令和7年度の開通を視野に入れ、継続して管理・整備を実施する。浚渫作業については島内処理が出来ない場合は、島外への持ち出し等を含め方法を検討する必要がある。公園の利活用を高めるために設備整備を行う必要がある。また、農道の草刈等についても継続することで農業従事者の利便性と意欲の向上に努める。

**今後の取り組み方針**

浚渫土砂の処理が困難な場合やコストがかかる場合は、浚渫作業自体をとりやめることも検討する。農村公園の認知度が低いことから、看板の設置や観光パンフレットへの記載などを行っていく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,882	2,882	2,305	577	0



資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務は指名競争入札により選定しており、妥当であると考え。 ○不用額もほぼ発生しておらず、妥当な予算規模と考える。 ○使途については、検査を実施しており目的に則し必要な物であったと判断する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村						
<b>令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	5-①	渡嘉敷村防災体制強化事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(4)-ア		
担当部署名	総務課	事業実施(予定)年度	令和5年度～令和6年度	沖縄振興基本方針該当箇所	危機管理体制の強化		
事業内容	安心安全に暮らせ、災害にも強い観光地であるために、災害情報や避難情報等を取りこぼす事無く伝達できるよう無線放送と災害監視カメラの機能強化を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額	A. 計(b+d)	75,680	130,020			
		B. 執行済額	75,680	130,020			
		うち交付金充当額	60,544	90,351			
		次年度繰越額					
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%				
	予算の状況の説明	計画通りに執行を行った。					
	<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R6活動目標(指標)	達成状況				
				R6年度	R6年度		
		防災行政無線の機能強化 防災監視カメラの機能強化	目標	( 設置完了 )	(                    )	(                    )	(                    )
実績			設置完了				
		目標	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )	
		実績					
達成状況説明	防災行政無線の機能強化を行った。(防災用スリムスピーカーの設置) 防災監視カメラを、クラウド上で管理し、場所、時間を問わずモニタリング出来るよう機能強化を行った。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R6年度	R7年度		
	防災用スリムスピーカーの設置 防災監視カメラの設置	目標	(                    )	( 設置完了 )	(                    )	(                    )	
		実績		設置完了			
	【参考指標】 避難訓練時に利便性が向上したかのアンケート調査を行い、放送がはっきり聞こえたの回答80%以上	目標	(                    )	(                    )	( 80% )	(                    )	
		実績					
	進捗状況説明	防災用スリムスピーカー、防災監視カメラの機能強化を行った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	防災用スリムスピーカーを設置し、放送範囲が広がった。 防災監視カメラの機能強化を行い、クラウド上でのモニタリングが可能になり、利便性が上がった。	設置後、特に問題は無く使用できている。 今後、使用していきながら改善点があれば、対応する。
今後の取り組み方針		
防災無線の放送エリアの調査等を行い、必要ならば子局の新規設置を検討する。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
130,020	130,020	90,351	39,669	0



[ 渡嘉敷村防災体制強化事業業務委託 ]

資金の 用途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務の業者選定は、妥当であったと考えている。 ○予算規模については、適正な規模であったと考える。 ○費目、用途については精算段階で、検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	